点数　各項目20点満点

No	タイトル	投稿者	評価者	怖さ	鋭さ	新しさ	ユーモアさ	意外さ	合計	書評
931	コロッケ	半分王	一般審査員A	10	8	12	10	8	48	比喩表現として人間をジャガイモだと思えば緊張しないという言葉があるのは分かるけど、この人は本当に人間をジャガイモだと認識して食べてしまったのかな。材料はまだまだあるって言っているからそういうことなんだろうな。ほんと、ぶっ飛んだ話でした。
931	コロッケ	半分王	一般審査員B	10	12	8	13	8	51	怪談をツッコミだしたら、キリがないんですが人をジャガイモに見立てても料理は流石に無理がありませんか。それに、何人殺めたんですか。
931	コロッケ	半分王	一般審査員C	16	16	18	18	16	84	残さず綺麗に食べたいですね。あっ食べきれない部分はご近所さんに…この怪談好物です。読み初めて私の頭の中で『いざ進めや〜キッチン〜♪目指すはジャガイモ〜』とあの歌が勝手に流れてきました。それくらい軽快に物語が進行して行きリズムに乗れました。あっ見方を少し変えたら料理て怖いですね。切り刻み、叩き、押し潰し、火で炙りと工程を文字面だけ並べたらもうぞっとします。点数は新しさやとくにユーモア部分が際立っていました。
931	コロッケ	半分王	一般審査員D	17	18	16	18	16	85	緊張を解すための言葉がこんなに恐ろしくなるとは…お腹がすく話だと一瞬でも思ってしまったことを後悔しました。鋭さとユーモアに秀でたお話でした。細かく書評を書くまでもなく、面白い！ありがとうございます！
931	コロッケ	半分王	一般審査員E	15	10	20	20	20	85	そう来る？って言うオチが素晴らしかったです。新しさ、ユーモア、意外さを高く付けました。やっぱりジャガイモと言えば、コロッケですよね！ただ読んでる方も欲が出てしまって、最後に怖さが倍増する一文が欲しかったです。
931	コロッケ	半分王	一般審査員F	17	15	16	17	16	81	このお話もなかなかブラックですね。最初は普通にジャガイモが食べきれない程たくさんあって、それを使って毎日料理をしている人物の話で、それがどう怖い話に展開していくのか、と思っていたら、そうきましたか！ジャガイモだと思っていたのはまさかの人間で、大量殺人を犯している人間が殺した人間を料理している話だった。タイトルのコロッケからは想像出来ないサイコパスな怖さを感じるお話でした。ユーモア度も高く、総体的に高評価なお話でした。
931	コロッケ	半分王	一般審査員G	18	16	15	10	15	74	ジャガイモ料理の話しばっかりだけど、これいつから怪談っぽくなるんだ?!と思いながら読み進めていく…最後まで読んで“ん？”そして色々と考えて「あ！そーゆー事か」と。なかなかエッジの効いた知的なお怪談かなぁ??なんて思ってしまいました。どストレートな怪談話しでは無いので好みの問題にはなってしまいますが、こんな感じの話しも嫌いじゃ無いですね。読み終えて色々と考えるとゾクッとする…こーゆーのも面白い！この話しに便乗するならば、今後どんな料理でその“ジャガイモ”を料理するのか…ちなみに私はジャガイモニョッキが好きなので是非作ってみて欲しいです（苦笑）
931	コロッケ	半分王	一般審査員H	18	20	10	18	10	76	お腹が空く文章だなぁ〜と読み進めていたら、一気に持っていかれました。ピュアも度が過ぎると狂気になっちゃうんだと…気持ち悪さ倍増でした。オチの締め方も良いですね。狂気でお腹いっぱいになりました。
931	コロッケ	半分王	一般審査員I	14	12	12	13	12	63	緊張したときはかぼちゃじゃなかったかな？ジャガイモだった？どちらにしろ食べ方はそんなかわらないけど笑。たくさんの人の前で何かをしようとして緊張しちゃったんですね。おもしろかった
931	コロッケ	半分王	一般審査員J	15	15	15	18	15	78	緊張しないためのおまじないをブラックユーモアとした非常に興味深い話だった。 それが行き過ぎた場合は、サイコパス的な話となるのではないかと想像させる怖さが良かった。
			合計	150	142	142	155	136	725	
No	タイトル	投稿者	評価者	怖さ	鋭さ	新しさ	ユーモアさ	意外さ	合計	書評
981	非予知夢	あきら	一般審査員A	15	13	16	15	17	76	なんで夢の内容を再婚相手が知っているんだよ。怖い話ですわ。しかも、夢の内容を女性が覚えているし。主人公この後大丈夫かな。ちょっと心配してしまいますね
981	非予知夢	あきら	一般審査員B	13	12	10	10	12	57	陰気な人より明るい人の方が世の中、強いような気がしますが怪談になると、途端に陰湿な人の方が強くなる傾向がありますよね。でも、本当は明るい人の方が強くて怖いですよ。
981	非予知夢	あきら	一般審査員C	15	16	15	15	15	76	夢が現実へ侵食してゆく怖さ…例えそれが仮に夢だとしても、選択肢を一つ誤ったらバッドエンド。悪夢が現実となり抗えない怖さが確かに有りました。その後のストーリーを想像しても、もう味方が誰一人として居ない絶望が良かったです。展開の新しさや、鋭さは予測出来てしまった点も少し有りました。そして例えばですが、自分だけの夢に出るのでは無くその女は日本全国の子供達の夢に同時多発的に出る一種の都市伝説的な存在だとしたら話としてよりスケールが大きくなるかなと思います。
981	非予知夢	あきら	一般審査員D	17	16	16	17	18	84	予知夢かと思って油断して読んでいたら、とても気分の悪い話でした…髪の長い女が言った「もういない」というのはどういう意味なのかつい考えてしまいました。直接手をくだしたわけではないと思いたいですが、夢の中にまで現れる念の強さから良くない想像をしてしまいます。そして、お父さんは何故二人の女性と比べて選ばせたのでしょうか。今時はマッチングアプリで複数の方と同時に連絡を取ることは良くあると思いますが、その中にそういう人が紛れていたらたまったものじゃないですね…気をつけようにも限界がある出会いは、どうやったら防げるのか知りたいです。
981	非予知夢	あきら	一般審査員E	15	15	18	15	15	78	長い髪の女性もお同じ夢を見ていたのかな？逆夢とも意味合いが違うやっぱり非予知夢がぴったりですね！「あっちの人は、もう居ないから。…」はゾッとしました。一体ショートヘアの女性はどうなったの？
981	非予知夢	あきら	一般審査員F	14	13	14	12	14	67	夢で見た人物が実際に現れるという事はあるだろうけれど、これは受け入れたくない現実でしょうね。半分正夢とも言えなくもないけど、夢の中で父親にどちらの女性がお母さんがいいか、と選択を迫られる。ただ、結果的には現実で父親が再婚相手として連れてきた女性は自分が選ばなかった方の女性だった。しかも、その女性は主さんの夢の事を知っていて、意味ありげにもう一人の主さんが選んだ女性はもう居ない、と言う。髪の長い陰気な女性が何かしたのだろうか？その女性に仕組まれた、と思うと怖くも気味が悪い。
981	非予知夢	あきら	一般審査員G	18	15	15	10	18	76	え?!なんか霊的な怖さよりも、なんか人怖的な怖さも感じたお話し。最後のオチがまた“そーきたか！”な意外性も感じられ、その点は高得点としました。またオチの怖さも良かったのでその点も高得点としました。話の流れも良く、夢の様子もリアルに伝わってきてからのオチ。構成も良かったと思います。うん。やっぱりオチって大事ですね…綺麗に怖くてとても面白かったです。夢と現実の関係性が色々と考えさせされる所でもありますが、ショートの人はどこへ行ったのか？もうこの世にはいないのか?!お父さんとはどんな感じで知り合ったのか?!不気味な疑問が浮かびます。
981	非予知夢	あきら	一般審査員H	10	10	18	15	10	63	夢じゃ無かったという事…？？2ちゃんねるの家庭板みたいなネタで個人的に大好物です。タイトルにあるように、予知夢を壊していくスタイルが良いですね。子どもは親を選べないという事を、ある程度大きくなってから体験するのは、やはり気持ちが良いものではありませんね。
981	非予知夢	あきら	一般審査員I	12	11	12	10	11	56	夢の女性は実在して本当にお父さんの交際相手で。。。なぜ髪の長い女は彼がショートヘアのほうを選んだのを知っているのか。同じ夢を同時に見る話を聞いたことはあるがそれなのだろうか？それでショートヘアを殺してしまったのか？別れる方向にもっていったのか？どちらにしても欲しいものを手に入れる執念がすごいな
981	非予知夢	あきら	一般審査員J	18	15	15	15	18	81	ヒトコワと予知夢をMIXした形態で興味深い話だった。夢で主人公と女性がつながっていたと思わせることと最後の女性の言葉が非常に怖かった。
			合計	147	136	149	134	148	714	
No	タイトル	投稿者	評価者	怖さ	鋭さ	新しさ	ユーモアさ	意外さ	合計	書評
920	ずっと許さない	にる	一般審査員A	16	11	17	18	18	80	死してなおも許さない。この手の話は幽霊側が強いというパターンが多いけど、この話はその逆。生きている人間が復讐する展開で興味をひかれたと同時に、それを許容する主人公も怖かったです。痩せていた人が死んだ後に太ってしまうのはユーモアにあふれていると思いました。このパターンはあんまり聞かないと思います。
920	ずっと許さない	にる	一般審査員B	12	10	13	12	13	60	生前のご主人には逆らえなかったから、亡くなってから報復をするのは霊が見えるのならわかりますが見えなければ、すごく無意味で悲しい行為ですね。
920	ずっと許さない	にる	一般審査員C	17	16	17	16	17	83	正に邪悪の一言。この方の生前は一体どんな酷い諸行を?!と想像を巡らすにはいられないそんな力業を感じました。まるで七つの大罪『大食』を体現した罰ですね。これらを具体的な食べ物を出す事によって文章がより明確に伝わりました。いや〜残された人に出来る可能性がまだまだあるもんだなぁと妙に納得も出来ました。お話も新鮮で意外さもありです。
920	ずっと許さない	にる	一般審査員D	17	14	12	17	16	76	何が起きているのだろうと恐る恐る読みながら最後「なるほど…」と納得。この方が酷いことをされていたのは想像に容易いですが、家でもそうだったのだと理解した途端言いようのない気持ちの悪さが込み上げてきました。好きなものだけをひたすら食べさせられるある種の拷問を死んでからも受け続けるほど酷いことをしてきたのだから自業自得かもしれませんね。
920	ずっと許さない	にる	一般審査員E	15	15	15	15	15	75	奥さんにも視えている？パワハラ上司なら家でもモラハラしていたかも知れないですね！亡くなってから苦しめようって思ってのお供えなのか？単純に好きな物をお供えしてあげているのか？微妙な所が恐かったです。
920	ずっと許さない	にる	一般審査員F	13	13	14	13	11	64	ヒトコワですね。パワハラをしていた上司の男。だが、死後、仕返しをされている、といったところか。上司の男は奥さんに対しても我が儘で色々なハラスメントをしていたのでしょう。まあ、自業自得といえばそうなのでしょうけれど、死後、お供えの高カロリーの食べ物を食べて肥る霊というのは新しいと言えるかもしれない。一般的に霊は香りを食べると言われているから実際にお供えの食べ物で肥るかどうかはわからないですが。生前どのようなハラスメントをしていたかはわからないけれど、死後もずっと恨まれるような生き方はしない方がいいだろう。
920	ずっと許さない	にる	一般審査員G	15	13	15	10	15	68	霊的な怖さもあるのですが、薄ら感じる人怖的な感じもあり私はそっちの方が嫌だなぁと思い読みました。きっと生前は嫌な上司でもあったので、酷い嫌われようだっただろうし。脂っこい物を貪り食べる姿がまた嫌な怖さが感じられますね…まるで人間では無い様な、何か得体の知れないナニカになってしまった様なそんな気もします。生前の行いがそうさせたのか、それとも何かに魅入られてしまいこんな結果になったのか…色々と考えさせられたお話でもあります。
920	ずっと許さない	にる	一般審査員H	6	15	15	15	15	66	部屋の隅にいたのは、霊だったのか…！！という伏線回収が軽快ですね。病気にさせて痩せているのではなく、逆に肥えているのも不気味ですね。奥さんも視えているかのような一文も不気味で最高でした。
920	ずっと許さない	にる	一般審査員I	14	12	11	10	11	58	ん？上司は奥さんに毒を盛られていたのか？それだけ備えられていて食べるのが好きな人なら食べつつ痩せていったのかなと。どんなワガママで周りを苦しめた上司だったのか。。。人怖ですね
920	ずっと許さない	にる	一般審査員J	18	16	18	18	13	83	ブラックユーモアを交えたヒトコワな話で、とても怖かった。パワハラ上司は、自身の行いにより家庭内外から憎まれてしまったことなんだろうと思ったが、奥さんの笑顔がとても怖く感じた。
			合計	143	135	147	144	144	713	
No	タイトル	投稿者	評価者	怖さ	鋭さ	新しさ	ユーモアさ	意外さ	合計	書評
989	鱗粉	青空あかな	一般審査員A	14	13	15	15	16	73	気味の悪い光景だ。想像しただけで震えが止まらないとはこのことを言いますな。人面蝶を捕まえて、羽を毟って鱗粉を盛った米にかける？　男の子供は何にも思わずにそのご飯を食べているんだろうな。幽霊とかが出てこないけど、怖い話ですよ。
989	鱗粉	青空あかな	一般審査員B	8	10	10	12	10	50	恐怖ポイントがよくわからないです。ご飯にかけるのは気持ち悪いですが怖くは無いですね。
989	鱗粉	青空あかな	一般審査員C	17	17	16	16	17	83	緊張と緩和。一つの怪談で二度美味しいヒトコワキショク悪怪談。人面犬、人面鯉と話題になっては盛り上がる人面シリーズ←？そして新たな仲間人面蝶！この時点でもうキショク悪さ満載です！そして読者を一旦安心させてからのまさかの食す！イイですねまんまとやられましたよそう来ましたか！人面蝶の怖さ×そしてそれを上書きする程のヒトコワがミックスされ大変良かったです。
989	鱗粉	青空あかな	一般審査員D	17	15	17	16	18	83	様々な都市伝説の中でも人面蝶とは、なかなかニッチなテーマで来たなと一瞬浮かれたのですがすぐ後悔しました。本当の怪異は不思議な存在の人面蝶などではなく、それを取り巻く人間だった…人面蝶にはなかなか出会えないものかと思わせておいて何匹も捕まってしまうのを不思議に思っていたら、まさかの展開になったので思わず読み直してしまいました。短編と思えない中身の濃さに驚きです。普通に考えれば食べようとはまず思わないものを、旨いと言って食べている家族を想像するだけで不気味です。だけどどんな味がするのか、少しだけ気になってしまいました…
989	鱗粉	青空あかな	一般審査員E	10	5	20	10	15	60	「人面蝶」とか「鱗粉をご飯にかけて食べる」とかオチ前まで新しくて面白い話だなと思っていたのに、オチが残念「十の瞳」ってなんですか？村の男とその子供で５人居たって事ですか？ショートだけど説明が無さ過ぎだと思いました。
989	鱗粉	青空あかな	一般審査員F	15	14	16	15	15	75	これも精神的に訴えかける不気味な怖さのお話。人面蝶はさすがに見た事もないし聞いた事もないけれど、もしいるのであれば一度は見てみたいと思う。週刊記者のSは人面蝶が棲むと言われる村に取材に行き、村人の案内で蝶を数匹捕まえるが、見た印象はそれほど怖くなかった。ところが、その案内人の村人の家に誘われて行ったところ、子供達を呼ばれ、突然、皆で茶碗にご飯を盛り、人面蝶の羽を毟って鱗粉をご飯にパラパラ振りかけて食べるという奇妙な光景を見る。いや、美味いと言われても…。風習も怖いし、見つめてくる目も怖い。
989	鱗粉	青空あかな	一般審査員G	15	15	15	10	18	73	読み終えると何とも気持ちの悪い後味が残るお話しでした。そして…え？“そんなオチなのぉ??”って感じの意外性が面白く、高評価としました。またその内容が気持ち悪くて…これは人怖なのか？とも思わせる様な感じも良かったです。しかし何匹も捕まえる程飛んでいるのも気持ちが悪いし…最後までずーっと気持ち悪い怪談ですね。良い意味で笑　しかしそのご飯食べたんですかね？どんな味なのか？その辺も気になりました。初めて聞くお話しですね。
989	鱗粉	青空あかな	一般審査員H	15	15	10	15	5	60	舞台装置は最高でした。協力的な村人、拍子抜けな対象物。蝶の羽をむしる子ども。ふりかけのように鱗粉を白米にかける様子。気持ち悪い要素が食卓に並んでて最高でした。個人的にオチが残念でした。「十の瞳」が人の目なのか、なにか節足動物なのか、肉食昆虫なのか…もう少し匂わせ程度でいいので記述が欲しかったです。
989	鱗粉	青空あかな	一般審査員I	11	10	11	11	11	54	そんなにたくさんいるんですね人面蝶。で、ご飯にかけて食べるなんて。。。気持ち悪いです。おえーってなります。想像したら。美味しくても食べたくないな
989	鱗粉	青空あかな	一般審査員J	18	18	18	18	15	87	人面蝶というものは、初めて聞いた話で、興味深かった。最も怖かったのは、これをご飯にふりかけのようにかけて食べるときに顔を合わせて食べる必要があるということでした。自分なら、頼まれても食べたくないと思わせたブラックユーモアも印象的でした。
			合計	140	132	148	138	140	698	
No	タイトル	投稿者	評価者	怖さ	鋭さ	新しさ	ユーモアさ	意外さ	合計	書評
923	人面魚	熊野郎	一般審査員A	16	13	16	16	14	75	話しかけてきた女性は何者？　予想斜め上の展開に思わずえっ！？てなりました。鯉を押し付けてきて主人公が見えなくなったけど、これは食われたってこと？　どうなったのかが良く分からないけど、生きているにしても死んでいるにしてもこの女性は怖い。
923	人面魚	熊野郎	一般審査員B	10	11	8	10	12	51	話の言い回しが分かりづらいですね。鯉を掴んだ人が自分の顔に押し付けたのか、主人公に押し付けてきたのかわからないまま、最後のセリフで何となく押し付けられたのかとわかりました。「顔に押し付けてきた！」くらいの表現でいいんじゃないかと思います。
923	人面魚	熊野郎	一般審査員C	16	17	17	15	17	82	コチラの想定を大きく超えたヤバ怪談！常軌を逸した行動で日常が一瞬で非日常へと変貌するのは恐ろしい、肌にビチビチに触れる不快感や匂いまでがするような臨場感がありました。短い怪談の中での新しく予測不能な展開と、鋭さがあり高めに点数を入れました。やがてこの女性は新しい都市伝説として全国へ広がってゆく事でしょう。…と思わせるくらい説得力と広がる展開も妄想出来ました。
923	人面魚	熊野郎	一般審査員D	12	11	16	17	15	71	リアルな人の顔がついた人面魚…想像するだけで不気味です。鯉を顔に押し付けてきた、というと私のイメージの中では口に鯉を突っ込まれていました。だけどこれでは人面魚になれませんね…視点が体験者から不気味な女性にシフトしているところで、意識を失っていくことが暗示されていていいと思いました。こういうスタイルの人面魚は想像したこともなかったのでユニークのポイントを高めにつけました。この不気味な女性に出会ってしまうと人面魚にされてしまう、という都市伝説がありそうな気がしました。この池はどこにあるのだろう、と興味がわいてしまいました。行きたくはありませんが。
923	人面魚	熊野郎	一般審査員E	18	15	20	20	17	90	人面魚ってそうやって？って衝撃でした！途中の「ここのは本当に人の顔なんですって」と敢えて言っている所が怖い。そうやって人に作られていたらと思うとゾッとします。これぞショートという分かりやすくて最後にゾッとするお話でした。
923	人面魚	熊野郎	一般審査員F	12	11	13	14	14	64	突然話しかけてきた知らない女性の取った行為が怖いですね。人面魚も一時期流行りましたが、確かに体の模様が人の顔に見える、所謂一般的な人面魚はまあまあいるような話は聞きますが、この女性の持っていた鯉は、果たして本当に珍しい人の顔をした人面魚だったのか、それとも人に鯉の顔を無理矢理押し付けて、それで人面魚だ、と言っているちょっとおかしい人なのか…。どちらにしても、鯉を顔に押し付けるようなヤバい女性は怖いに違いない。
923	人面魚	熊野郎	一般審査員G	18	14	15	10	18	75	なんかシンプルに怖かったし、最後のオチがまさかそんな展開になるとは思わなかったので、意外さを高得点に。また最後にしっかりした怖さも感じられたのでその点も高得点としました。しかしその女は何者なのか?!人面鯉製造霊?!何のために?!色々と疑問が浮かびます。そしてその鯉にされた人はどうなったのか?!もう人には戻れないのか?!不思議でもある怪談だと思いました。情景描写も上手なので様子が浮かんでくるし、分かりやすい展開で読みやすく、オチの意外性も相待って個人的にはとても面白いお話しだなぁと思いました。
923	人面魚	熊野郎	一般審査員H	4	5	10	18	20	57	予想と違うオチでゾクっとしました。人怖の要素が強く出ていて最高ですね。「もう見えないか」の一言に絶望感も詰まっているし、何より力技のストーリーから圧力を感じて印象的なショート怪談になっていると思います。
923	人面魚	熊野郎	一般審査員I	10	10	10	10	10	50	え？意味がわからない？顔に鯉を押し付けても顔に鯉がめり込み事もなく。めり込んだとしても人面魚ではないような。。。ただ相手を殺したかったの？それじゃ鯉が可哀想なだけで。気の狂った女の話ってこと？これも人怖？
923	人面魚	熊野郎	一般審査員J	12	15	18	18	12	75	人面魚は、そこに住み着いているナニカが、人を犠牲に指定作り出しているという新しい切り口がとても良かった。また、やり方が、パワープレイ過ぎるところも面白かった。
			合計	128	122	143	148	149	690	
No	タイトル	投稿者	評価者	怖さ	鋭さ	新しさ	ユーモアさ	意外さ	合計	書評
1002	芋虫	青空あかな	一般審査員A	14	12	13	17	18	74	Ａは幻覚を見せられていたのかな。蛹になったっていうけど、Ａの顔は老婆になっている。それは、純粋に歳をとったって意味でいいのかな。それとも、皮膚の表面をうごめく何者かの影響で老婆の顔になってしまったのかな。もし、後者の意味ならば何者の仕業なんだ。
1002	芋虫	青空あかな	一般審査員B	12	10	8	8	10	48	今年２０歳になったのに老婆の姿なのがわからないです。しかも、芋虫も見えんのかい。で、もしかしたらサナギから蝶になったら、老婆がシンデレラになるんですかね。
1002	芋虫	青空あかな	一般審査員C	16	16	16	15	15	78	ずーっと自分にしか見えていない芋虫ですか…。栄養というか若さやエネルギーなど全てがその芋虫に奪われていたのでしょうか。自分の腕の皮膚のすぐ下に蠢いてる様相は恐怖の他に強い嫌悪感すらありますね。背中がゾワっとしました。短いストーリーの中でも後半で事態が鋭く急展開するのも予想の斜め上をゆき良かったです。
1002	芋虫	青空あかな	一般審査員D	16	14	18	17	16	81	肌の上を虫が這うというのは薬物中毒患者によく現れる幻覚症状なので、そっち系のヒトコワかと思いましたがそうでもないのか、やはりそうなのか、読み終わってから少々混乱しました。どちらとも解釈できる話でとても気持ちが悪いです。二十歳で老婆のようになってしまったということは、その「芋虫」に生気を吸われているのでは…？では、今は蛹のそれが蝶になったらAさんはどうなってしまうのか。蝶になった姿を見ることはできないのでは、と考察してしまいました。ただ、幻覚が見え始めたのが二十歳でそこから年月が経っているのか、二十歳のままなのかが少し分かりづらく考えてしまいました。それによって、本当に老婆になるまでその現象が続いたのか、二十歳で老婆のようになってしまったのかが大きく変わってしまうのでそこは分かりやすくしていただきたかったです。
1002	芋虫	青空あかな	一般審査員E	15	5	20	10	10	60	何十年もに渡って掛けられた誰かによる呪詛なのか？気になったのは「今年で二十歳になった」のに最後老婆となるのは時系列がおかしいと思いました。最初の「今年」は不要では？
1002	芋虫	青空あかな	一般審査員F	17	15	16	15	16	79	腕に芋虫が住んでいるというこれまた奇妙なお話。何度振り払っても潰してもまた同じ場所に現れる芋虫。時間が経てば愛着が湧くものだろうか。自分の腕に芋虫が…と想像すると、とてもそうは思えない。最後、Aが言った科白の「ようやく蛹になったわね。どんな蝶になるか楽しみ……」というのはAがそう思い込んでいるだけなのか、実際にAには蛹が見えているのか。今年で二十歳になるAが老婆の顔をしているのはその芋虫に精気を吸い取られたからなのか。
1002	芋虫	青空あかな	一般審査員G	16	14	14	10	14	68	虫が大の苦手な私からすると、イモムシが体を這うとかって気持ち悪過ぎる！と思いながら読み進め、最後まで来た時にふと、これって怪談??と。なんか人怖なのか??とも思ったり…理由はヤバいお薬での影響の話し??とも思えたから。　老婆の顔になってしまた件や幻想が見えたりする辺り普通じゃ無いですよね??そう思うと色々な意味での注意喚起かな??とも思ったり…まぁ色々と考察は出来ますけど。でも現象だけ聞くと本当に気持ち悪過ぎる！！
1002	芋虫	青空あかな	一般審査員H	18	18	15	10	10	71	蛹になるまでに、巣喰われてしまったの…？二十歳女性が老婆になってしまって不気味さMAXでした。愛着が湧いているのも気持ち悪さを増長してて良いですね。シンプルで気持ち悪くて、良きです。
1002	芋虫	青空あかな	一般審査員I	11	11	10	10	11	53	老婆の顔をしたはこの話のオチになにか関係があるのか？Aは老婆でボケているということなのか？ボケてて周りには見えないものが見えているだけというお話なのでしょうか
1002	芋虫	青空あかな	一般審査員J	15	15	15	13	18	76	２０歳の頃の話から時が経ったのか？と思わせる不思議な話だった。 また、イモムシが自分の腕に住んでいると思うのは、妄想なのか薬物による影響なのかわからなかった。いずれにしても、A自身の中でクローズしているヒトコワだったと思う。
			合計	150	130	145	125	138	688	
No	タイトル	投稿者	評価者	怖さ	鋭さ	新しさ	ユーモアさ	意外さ	合計	書評
911	穴	太田　崇	一般審査員A	14	13	15	16	15	73	玄関を出ると目の前に穴があるのは怖い。手首を失ったけど、この日とはこの後どうなるんだろう。そして、穴の向こうから聞こえてきた会話の主は何者？　謎しか残らない話だけど、嫌な話ですね。これこそが、まさしく怪しい話。
911	穴	太田　崇	一般審査員B	8	7	10	10	8	43	怪談というより、どことなくファンタジーのような話です。もってかれる手首はわかりますが、生首をもってかれたら、必然と体も落ちるんじゃないかと思っちゃいました。
911	穴	太田　崇	一般審査員C	17	16	16	18	17	84	好奇心猫をも殺す。関わらないのが一番ですが、目の前に見た事もない穴が出現したら思わず手を入れたくなりますね。不条理な怖さがこれでもかと有りました。それと声が聞こえてくる辺りユーモア点も加点しました。狂気と笑いは紙一重を短い文章で体現した良作。穴シリーズの今後がもしあるならまだまだ続きを読みたいです。
911	穴	太田　崇	一般審査員D	13	12	17	18	17	77	目の前にある謎の物体を真っ先に「穴」と認識できたのは何故でしょう。厚み(実際は深さ)はそこまでない、にも関わらず指を突っ込みたくなってしまう好奇心が恐ろしい結果になってしまいとても後味が悪いです。新しい発想で面白い話でした。身を滅ぼすほどの好奇心はほどほどに…
911	穴	太田　崇	一般審査員E	10	15	15	15	15	70	日常に突然現れる不思議な話は好きです。もしかしたら明日、私が家から出たら穴があるかも！とドキドキして玄関を開けてしまう。やはり穴が有ったら何か確認したくなるけど、私だったら怖くて何もしないで逃げます。首入れた人はどうなったの？その先を知りたくなりました。手首８つ、首が２つでしばらく食べるのに困らないなら、小さな生き物？どんどん想像が膨らむお話でした。
911	穴	太田　崇	一般審査員F	16	16	18	15	16	81	なかなか斬新なショートストーリーでした。玄関前に突然現れた謎の穴。怖さ半分、でも、興味本位でちょっと指を突っ込んでみるぐらいはしてしまいそうな気がする。このお話の主さんも、最初は指先を、更に手首まで差し込んでしまったところで悲劇がー。いくら血が出なくとも凍っていようとも突然痛みと共に手首から先がなくなってしまったら、そりゃあ半狂乱にもなるだろう。穴は異世界と繋がっていたのか。そして、その世界から見ると、こちらの人間は釣られる魚のようで、まるで餌のようだ。体の一部が持っていかれる恐怖ー。主さんはまだ手首だけで済んで良かったのかもしれない。
911	穴	太田　崇	一般審査員G	13	13	13	10	15	64	なんとも不思議な話し。最後は夢オチかなぁと思っていたのですがそうでも無さそうな…そしてその後はどうなったのか??とても奇妙なお話しでした。しかもそんなものがあったら“触れてみたい”とは思わないと思うんだけど、触ってみたくなる衝動が怖いですね。何か引き寄せられるものがあるんでしょうか?!そして他にも餌食になった人がいた様な記述もあり、奇妙な怖さもありました。しかし確信的な描写が無い事もあり、話し自体は面白いはずなのに表現によるインパクト?!が足りないかなぁと感じました。
911	穴	太田　崇	一般審査員H	10	15	15	10	10	60	わかさぎ釣りが想像できるような軽いノリでエグいオチにドキドキしました。2名亡くなってしまっている事が想像できる言い回しがたまりません。無くなった手首が食用という匂わせも良いですね。一体誰が釣りをしていたのか気になりました。穴の向こうの会話は、登場人物が聞いたのではなく、読者に聞かせているのでしょうか。「私は」という主語を使わない方が読み手を舞台にあげれそうな気もしました。
911	穴	太田　崇	一般審査員I	11	11	12	12	12	58	カニバリズム的な？宇宙人的な？凍らせて切るのは計画的な。腐らないように凍らせてる？宇宙人にしては知識がありすぎ？先にいる者が気になりますね
911	穴	太田　崇	一般審査員J	15	12	15	15	15	72	釣り感覚で仕掛けられた罠だったのは、面白い。 最後のあちら側の世界からの反応が興味深い。
			合計	127	130	146	139	140	682	
No	タイトル	投稿者	評価者	怖さ	鋭さ	新しさ	ユーモアさ	意外さ	合計	書評
958	汚い話ですいません	氣龍みぃ	一般審査員A	13	12	15	14	16	70	そのお婆さんは何者！？　血を吐かれたらその人はアウト。それ以外だったら、自分が抱えている病気を吐くことが出来る。リアルにいた場合、自分の病気が良くなる可能性があるとはいえ、ちょっと会いたくないな。自治会に報告、その婆さんに何をやられたか記録を残しているんですかね。だから、周期が分かるのかな。
958	汚い話ですいません	氣龍みぃ	一般審査員B	12	10	12	11	10	55	完治しずらい病気の人はババアに会いにいくかもしれませんね。たぶん、もともと助からない人は血を吐くんじゃないかと思いました。5人の生け贄の後、1人を助けるそんな感じの異形の神なんでしょうかね。
958	汚い話ですいません	氣龍みぃ	一般審査員C	16	16	16	15	16	79	🤮何ともまぁ後味引き摺る短怪談。こうして伝播してゆくのでしょうね…コチラに語りかける様な文章も相まってより信ぴょう性が増し、不安がより駆り立てられました。体の悪い箇所が自然と排出されていき、めでたしめでたしからの更に一段階落とす後半の文章が活きてました。怖さのみならず生理的な不快感が素晴らしいです。
958	汚い話ですいません	氣龍みぃ	一般審査員D	15	16	18	18	15	82	ネーミングから気持ちの悪さが溢れていますね。何をするのかと思えば、その名以上に気持ちが悪かったです。まさに閲覧注意とはこのこと…読むタイミングによっては怒りが沸いてくる気がします。しかし、実態は病を知らせ、持ち去ってくれるような物の怪かと思いきや、そこそこの確率で不幸も運んでくる。その土地に根差す物の怪の類なのか、土着神のようなものなのか。あまりに得体が知れない存在に鳥肌が止まりませんでした。
958	汚い話ですいません	氣龍みぃ	一般審査員E	5	5	20	10	15	55	想像して気分が悪くなりますね。「嘔吐ババア」というネーミングもひと捻り欲しかったです。飲まさなくてもいいんじゃない？って思ってしまいました。新しさは感じましたが、怖いというより、いい話なのか悪い話なのか迷うお話でした。
958	汚い話ですいません	氣龍みぃ	一般審査員F	14	13	16	15	15	73	嘔吐ババア…。想像すると気持ち悪いですね。不気味な存在としての怖さはあるのですが、怖さよりもやはり嘔吐、という行為の気持ち悪さが勝ってしまいますね。見たら最後、枕元に立たれ、ゲロを飲まされるとか、想像したくもないです。まあ、お話としては新しいと言えなくはないですが。病気が完治していたのは意外で、良かったといえばそうなんでしょうけれど、当たりかハズレか、みたいなギャンブル的要素があるのなら嫌ですね。血を吐かれたら、その先にあるものは〝死〟でしょうか…。
958	汚い話ですいません	氣龍みぃ	一般審査員G	15	15	18	10	14	72	本当にタイトル通りだなぁと思った私です…ゲロ飲まされるとかめちゃくちゃ嫌なんだけどーー。そしてめちゃくちゃ想像してしまい萎えてしまいました泣。でもその後癌が治るとか！！！例に漏れず「じゃあ良いじゃん」と思った私。他の病も治るのかしら?!しかしこんな怪談は初めて聞きました。なので新しさは高得点に。おどろしい怖さは感じられ無かったけど、内容が内容だけに別な怖さというか不快からくる嫌悪感…それが良い意味で良かったかなぁと思いました。しかしそのババアは何者なんですかね??
958	汚い話ですいません	氣龍みぃ	一般審査員H	15	20	10	15	15	75	6回に1回ハズレがあるゲロだなんて、最悪のギャンブルでしょうこれ。…終始キショい内容で、ちょっと卑怯とすら感じる怪談に感じましたが、ちゃんとオチが尖ってて良かったです。自治会に報告して回数を確認しているんでしょうか。日本にいるお米を吐く神様を思い出しましたが、嘔吐ババアは…神様なのか、人なのか…癌が完治する程の力をもっている存在ではありますが…シンプルに気持ち悪いですね。
958	汚い話ですいません	氣龍みぃ	一般審査員I	10	10	10	10	10	50	もぉ怒。怖いとかの前に汚い。不快。自分が吐くものとかどうでもいい。とにかく不快。
958	汚い話ですいません	氣龍みぃ	一般審査員J	12	12	15	15	12	66	何かよくわからない妖怪のようなものが病気を治している？のかと思ったが、いかんせんビジュアルが良くないと思った。また、最後の主人公はなぜ二回目も来ると想定しているのかがわかなら買った
			合計	127	129	150	133	138	677	
No	タイトル	投稿者	評価者	怖さ	鋭さ	新しさ	ユーモアさ	意外さ	合計	書評
925	草刈りの家	円（まどか）	一般審査員A	10	14	15	20	16	75	地域に残る不思議な風習の話には興味を抱きました。これだけでユーモアポイントは高いです。怖いとは思わないけど、一斉に手を合わせる描写は脳内で想像出来ましたね。神様でも宿っているのかな。その家屋に。
925	草刈りの家	円（まどか）	一般審査員B	10	9	10	8	10	47	怪談なのかどうかわからない話ですね。たぶん草刈りをするのは草をほっとくと秋に枯れて火事になりやすいからじゃないですかね。拝むのは謎ですね。
925	草刈りの家	円（まどか）	一般審査員C	16	16	16	16	15	79	側から見ると丁重に祀られている謎の建物ですか、きっと紐解いていけば知らない方が良かったというエンディングが垣間見えそうで…そこに長く住んでいるにもかかわらず自分だけは何も知らないばかりか蚊帳の外。だが周りの人らはソレの意味を知っているだからこそ言葉にならぬ怖さが感じ取れました。そう未知への恐怖。人間は説明や意味を知る事で自分の中でも答えに辿り着き、更に納得がゆくと途端に恐怖心が消えるというものです。そこの心理をついた不気味怪談。
925	草刈りの家	円（まどか）	一般審査員D	12	14	15	17	11	69	1年に一度だけ草刈りがされるという地域から忘れられているわけでもなく、大切にされているというほどでもない謎の廃墟。怖さは感じませんでしたが、なんとも言えず不思議な話でした。何かを封じ込めているとか、崇め奉っているわけでもなさそうですが地域の方々が家屋に向かって手を合わせていた意味が気になります。何かがあったことは間違いなさそうですが、何年も同じことを繰り返すというのはそれ相応の出来事があったからでしょう。それが噂レベルでも残っていないのは逆に不自然なように思います。この家屋だけでなく、この地域自体に目に見えない「何か」の力が働いているのではないでしょうか。
925	草刈りの家	円（まどか）	一般審査員E	15	20	20	15	20	90	２５年も住んでいるのに、手を合わせている所に遭遇したらゾッとします。こう言う謎が残って考察が出来る話はいいですね！こ続きの話を長文で読みたくなりました。
925	草刈りの家	円（まどか）	一般審査員F	12	11	13	11	11	58	怖いというよりも不思議で謎めいたお話ですね。普段は草がボーボーに生い茂っているが、一年に一度、その草刈りがなされると姿を現す無人の平屋の家屋。草刈りはそこの住人とかではなく、近所の人達がしていてその庭で家屋に向かって一斉に手を合わせる近所の人々。その家屋には何かの神様でもいるというのだろうか。でも、神様ならもっと頻繁に手入れもするだろうし、一年に一度しか草を刈らないというのも不自然だ。その家の住人だった人の命日？色々と謎ですね。
925	草刈りの家	円（まどか）	一般審査員G	17	15	14	10	16	72	なんとも奇妙で凄く気になるお話し…。是非近所の人に“何故手を合わせるのか”を聞いてもらいたい！凄く理由が気になる！！！しかも取り壊す事もせず、年1草刈りして綺麗にして手を合わすって…謎過ぎる。でも特に普段から怪異が起こる訳でもなく、何か事件が起こる訳でも無いならやっぱり草刈りして手を合わせる事に意味があるんでしょうね…何かを鎮静化させているんでしょう。しかし気になるなぁ…何があったんだろその家で！！！
925	草刈りの家	円（まどか）	一般審査員H	10	10	10	15	15	60	家屋に手を合わせるのやめて欲しい…絶対何かあった家か忌み地じゃないですか…。草刈りなんて数人でできるのに、みんなで手を合わせている状況が気持ち悪すぎました。冒頭の25年〜も長い間繰り返されている慣習だと思うと気持ち悪いですね…
925	草刈りの家	円（まどか）	一般審査員I	11	12	11	10	11	55	なぜ手を合わせているかも気になりますが、なぜ近所の人が草刈りをしているのかも気になります。他人の土地なのに。無視が理由なら自治体に相談すればいいのでそれは違うとして。全く理由が思いつかないですね
925	草刈りの家	円（まどか）	一般審査員J	12	12	15	12	15	66	いわくつきの物件に対する近隣住民の扱いなのかと思わせたが、もしかすると由緒正しい物件だったのかもと思わせ、住民の対応が非常に気になった。
			合計	125	133	139	134	140	671	

No	タイトル	投稿者	評価者	怖さ	鋭さ	新しさ	ユーモアさ	意外さ	合計	書評
982	無えさん	青空あかな	一般審査員A	15	11	12	13	14	65	黒い喪服を着た顔のない女の描写は怖い。いきなり辻道でそんな人に遭遇したらビビってしまいますよ。花ちゃんはよう君の身代わりで亡くなってしまったのかな。それでも、伝承には本当は別の意味があったのかな。そのあたりは分からないけど、不思議な話だなと思いました。
982	無えさん	青空あかな	一般審査員B	12	10	12	10	15	59	情景や話の流れは素晴らしいんですが話の言い回しが勿体無い所がありますね。たとえば「喪服を着た顔のな女に。」の「に。」はいらないですね。あと、わからないのが花ちゃんが死んでしまう事ですね。わかる方がいたら教えてほしいです。気になります。
982	無えさん	青空あかな	一般審査員C	15	14	14	16	13	72	タイトルにある無えさんは顔が無い姉さん、ゆえに無えさん。言葉のユーモア部分にセンス有りです。短い怪談ならではの説明が簡潔とし読み易い文章ではありましたが、オチとしては…？とすんなり入り込めませんでした。ただ無えさんの姿形の描写がシンプルが故にはっきりと想像出来るので不気味度は増しました。
982	無えさん	青空あかな	一般審査員D	16	17	14	16	17	80	昔から伝わっている伝承には、何かしら根拠になる民話や出来事があるものだと思いますがそれが誤っていたのか、意図的に「違う形」で伝えられていたのでしょうか。もし、そうだとしたら目的は何なのか。そもそも、この怪異は何をしようとしているのかあまりにも分かりません。怪異の発動条件「姉がいる少年」という点が面白いと思いました。確かに実際に怪異に遭うのは少年ですが、不条理な目に遭うのは姉。怪異の元凶と思える謎の女性の正体は一体何なのか。過去に弟が神隠しに遭い、いつまでも弟を探している姉かと思いきや命を奪ったのは姉…どうなのでしょうか。読む人によってさまざまな考察ができる話だと思いました。
982	無えさん	青空あかな	一般審査員E	10	10	15	10	10	55	タイトルの「無えさん」という聞いた事が無いネーミングに期待して読みました。結局喪服の顔の無い女は「無えさん」なんですか？伝承と違うので謎でした。そして最後どうして「…らしい」で終わらせたのでしょうか？尻すぼみになっていて残念だし怖さも半減してしまいました。
982	無えさん	青空あかな	一般審査員F	14	14	14	13	15	70	これも伝承系のお話ですが、神隠しのお話はよくあるけれど、姉のいる弟が黄昏時に神隠しに遇う、というのはなかなか面白い。まあ、人が消えていなくなる事を面白いなんて言ってはいけないのでしょうけれど。このお話では翌日には死体となって発見されるというのだから尚更だ。ただ、よう君の場合は違った。学校からの帰りが遅くなったある日、黒い喪服を着た顔のない女に会い、顔に触れられたが、だそれだけで自分が神隠しに遇うことはなかったが、家に帰ると姉の花ちゃんが死んでいた。それはそれでまた怖い。よう君は自分が助かった事に喜んでいただろうけれど、お姉さんが死んでいたらそれはショックだった事だろう。
982	無えさん	青空あかな	一般審査員G	15	13	13	10	13	64	何か妖怪めいたモノなのか??その土地にいるナニカなのか??それとも“悪霊”的な？私も初めて“無えさん”という名前を聞きましたが、その首のない女がそうなんですかね？そして必ず死人が出るのも怖いですね…まずそんなのと出くわす事が1番恐怖ですけど汗。文章も分かりやすくて、情景も浮かんできてとても読みやすく面白いお話しだったと思いました。欲を言えば、もっと“無えさん”を深掘りしてみたいですね…なんか他にも伝承が色々とありそうですし！興味あります。
982	無えさん	青空あかな	一般審査員H	10	10	15	15	15	65	無えさんは、ねえさんと読むのでしょうか。言葉遊びがおもしろい！個人的に好きな置き換えです。出来事の描写がとても上手な方なので、ついオチや物語の深め方、ツメ方が浅く感じてしまいました。怪異の代償が読めないので、少しフラグが欲しい気もしました。
982	無えさん	青空あかな	一般審査員I	12	13	11	11	11	58	ねぇさんと読むんでしょうか？弟が死ぬのか姉が死ぬのかはわからないが姉弟の組み合わせが狙われるのかな。私はちがってよかった
982	無えさん	青空あかな	一般審査員J	15	15	12	12	15	69	最初と結果が異なっていて、意外な結果と思わせたところが良かった。途中の妖怪のようなものは、結果として、姉を身代わりにしたのか？というところがよくわからなかった。
			合計	134	127	132	126	138	657	
No	タイトル	投稿者	評価者	怖さ	鋭さ	新しさ	ユーモアさ	意外さ	合計	書評
973	鳴き声	猫科狸	一般審査員A	18	16	15	18	18	85	自宅に潜むものは何者だよ。正体は分からないけど、自分が体験したら冷汗が止まらない話だと思います。この自宅に何年住んだのかは分からないけど、もし、今まで起きていなかったのに、その日突然起きてしまったのならばいや。短い文章だけど、怖さがしっかりと表現されていたのでいい話だなと思いました。
973	鳴き声	猫科狸	一般審査員B	15	12	10	10	12	59	一人暮らしで異性の声がしたら、怖いですね。しかも、ほらきただから、
973	鳴き声	猫科狸	一般審査員C	16	16	16	17	15	80	読んでまず初めに、私が想像した声の主の正体は目には見えない妖精さんか小人さんだったのかなと怖さよりもユーモアが先行する短怪談。もしかしたらその声の主はあなたの帰りを毎日窓辺で待っておりそして毎日耳元で囁いていたのかもしれませんね。それが今回たまたまラジオのチューニングがバッチリ合う様に聴こえないはずの声が聴こえてしまった…と。例え向こうに悪意が無いにせよロックオンされてしまった主人公の末路も気になる良作。
973	鳴き声	猫科狸	一般審査員D	17	18	15	16	17	83	スピード感と鋭さが素晴らしい。短い文章でもこの方の行動が手に取るように分かります。揶揄われているような怪異の連続に、怖さとちょっとイラっとしました。実際に自分の身に起きたらとんでもなく怖いと思うのですが、完全の怪異の掌の上で転がされている流れが見事だと思ってしまいました。愉快犯のような怪異には遭遇したくないものです。
973	鳴き声	猫科狸	一般審査員E	5	5	5	5	5	25	タイトルの「鳴き声」と内容が結び付かなかったです。声が近づいて来るオチはよくある話だと思いました。
973	鳴き声	猫科狸	一般審査員F	13	12	13	11	12	61	意味のわからない不気味な怖さはありますね。「ほらきた」の言葉の意味もわからないし、甲高い女性の声が窓の外から聞こえるのもまず怖い。更に布団に潜り込んでも耳元で追い討ちをかけるように聞こえる「ほらきた」。結局、訳がわからない事が一番怖いのでしょうね。個人的な意見にはなりますが、猫科狸さんは、ショートよりも長編の方が向いているような気がします。
973	鳴き声	猫科狸	一般審査員G	16	15	14	10	13	68	え？これ普段から何も無かったのに急にそんな声が聞こえたって事??怖い！しかも女の甲高い声って！今まで何も無く急って事は女の霊を拾ってきた?!それとも生き霊?!その女がナニノモなのかがめちゃくちゃ気になります。しかも布団被ったのに耳元で…って！めちゃ近いじゃん！恐怖！！そしてその後どうなったのか？など後々の事もとても気になりました。そう考えるといつもの我が家でもいつ怪異が襲ってくるか分からないと考えると怖いです泣
973	鳴き声	猫科狸	一般審査員H	15	5	5	10	10	45	外にいた「ナニカ」が一気にゼロ距離になるのは、めちゃくちゃ怖いですね。窓の外が真っ暗という事は、ある程度田舎でしょうか、いつもの虫の鳴き声が女性の声だと想像すると、やっぱりこわい。
973	鳴き声	猫科狸	一般審査員I	12	12	12	11	11	58	外から入ってきてしまったのか。見つからないように外に出たのに見つかったから入ってきてしまったのか。耳元は怖いね。朝までに消えてくれたらいいのだが
973	鳴き声	猫科狸	一般審査員J	18	18	15	12	13	76	ほらきたと言っているのは、ヒトコワなのか心霊なのかいずれであっても非常に怖い話だった。 しかも、窓際からもベッドからもというのが、めちゃくちゃ怖い。 なんとなく生霊なのかもしれないと思った。
			合計	145	129	120	120	126	640	
No	タイトル	投稿者	評価者	怖さ	鋭さ	新しさ	ユーモアさ	意外さ	合計	書評
988	渇き男	青空あかな	一般審査員A	12	11	14	11	12	60	渇き男に出会ったら水分を要求し、渇きが収まらなかったら血を吸われてしまう。そんな悪霊に出会ってしまったら嫌ですね。自分の彼女をさして、悪霊が消えたってことは彼女を身代わりにさせたのかな。この人がこの後どうなったのか気になりますな
988	渇き男	青空あかな	一般審査員B	14	13	12	10	13	62	もし渇き男に殺されたとして、それが警察に立件された過去があるとしたら、彼女を殺した男が次の渇き男になってしまうんじゃないかと思いました。妖怪や悪霊によって殺されてしまったら、警察的にはどういう犯罪になるのか知りたいですね。
988	渇き男	青空あかな	一般審査員C	17	16	15	16	15	79	その悪霊に出会ったが最期。もう取り憑かれてしまうのでしょうかね、自分がその新たな悪霊と成り次のターゲットを探しに夜な夜な彷徨い続ける…。と話が膨らんでいきます。前半からガラッと打って変わって一気にスプラッターで凄惨な展開へと変貌したのは読んでいて個人的にはスッキリとしました。信頼している人の急な変貌ぶりは大好きです。落差があればある程イイ…
988	渇き男	青空あかな	一般審査員D	14	15	17	16	17	79	怪異に出会ってしまった時、回避する方法がある場合とない場合がある。この渇き男は回避方法がわかっていて、成功することもあるとわかっていれば試すのは必至。この怪異の場合、珍しいことに初めから「悪霊」として伝えられています。つまり、初めから警戒すべき存在と知られているにも関わらず、ひろ君ひどすぎます…大切な彼女を捧げてまで自分が助かりたいと思ってしまう人の醜さを引き出してしまう力もあるような気がしました。
988	渇き男	青空あかな	一般審査員E	5	10	5	5	5	30	大事な彼女を差し出すなんて酷い。それだけ恐怖だったのでしょうけど…。「渇き男」という惹かれるネーミングなのに、最後の「誰もいなかった。」のオチはちょっとありきたりでがっかりでした。
988	渇き男	青空あかな	一般審査員F	15	13	14	12	13	67	◯◯男が出没する、というような伝承はまあ結構聞いたりするけれど、渇き男とはまた異な存在ですね。出会った人に水分を要求し、渇きが収まれば助かり、収まらなければ血を吸われて殺されるという運頼みなのは怖い。たまたま渇きを収められるだけの水分を与えられる環境で出くわせればいいけれど、そうでなければ殺される確率の方が明らかに高いだろう。ひろ君は彼女と一緒に渇き男に遭遇し、恐怖に耐え兼ねて大事なはずの彼女を包丁で刺してしまうが、人間は追い込まれた時に自分の命がかかっているとなると大切な人にでも手をかけたりしてしまうのだろうか…。精神的な怖さを感じるお話でした。
988	渇き男	青空あかな	一般審査員G	16	15	15	10	15	71	いやいや…大切な彼女さんを刺し殺すんかい！！！！ちょっとその点がめちゃくちゃ引っかかって、恐ろしかったです。
988	渇き男	青空あかな	一般審査員H	5	5	10	15	15	50	恐怖で彼女を刺すなんて…ひろ君が日頃から邪魔に思っていたのでは！？ひろ君自身が「渇き男」だったのでは！？彼女の血を吸い切ってしまって渇き男が消えたのか！？と考察が最高に楽しめるショート怪談になっていると思います。最初に「私が〜」と始める必要が無いように感じました。不必要な情報を削って残忍な描写が増えるとより鋭利なショート怪談になったと思います。
988	渇き男	青空あかな	一般審査員I	12	12	12	11	13	60	彼女の血で助かると思ったらただただ殺してしまっただけだったという。いや彼は彼女を殺したかっただけだったのかもしれないですね。大事な彼女といいつつあっさり殺してしまったところとか。こわっ
988	渇き男	青空あかな	一般審査員J	18	15	18	12	15	78	聞いたことがない妖怪の話で怖かったが、それ以上に怖いのは、ヒトコワで彼氏が、彼女を血を吸われてしまう前提で刺すという行為と思った。
			合計	128	125	132	118	133	636	
No	タイトル	投稿者	評価者	怖さ	鋭さ	新しさ	ユーモアさ	意外さ	合計	書評
1024	涙目で	幽幽	一般審査員A	12	12	12	12	12	60	温泉旅館で何があったんだろうか分からないけど、この友人はおかしくなってしまったのかな。異臭漂う家って表現は嫌ですね。ご主人は不在だったって書いてあるけど、本当に不在だったのかな。この匂いと何か関係あると思ってしまうのは気のせいだろうか。
1024	涙目で	幽幽	一般審査員B	10	12	13	10	8	53	酒を飲むのをためらわせる宿とどうなったかよくわからない主人と涙目でビールを飲む未亡人と謎に殴られた主人公。わけがわかりませぬ。
1024	涙目で	幽幽	一般審査員C	16	15	16	16	16	79	地方の信仰する土地神様でしょうか。導入部からリアルティがありました。そして利用出来うるものは何でも利用するという生きてる人の真っ黒な願望が際立ち、例えそれが得体の知れない悪霊や邪神であったとしても…あえて本当の名を載せない手法もハマリ悪霊の格上げにも繋がってました。真に怖いのは自分の行いに迷いが無く躊躇わない人。
1024	涙目で	幽幽	一般審査員D	15	13	16	18	14	76	古い旅館に伝わる都市伝説のような民話にような怪異に仮名があるのは面白かったです。旅館に棲むもので座敷童のようなものはよく聞きますが、不幸を呼び寄せるような怪異はあまりないのでそこは新しさを感じました。実際にあったとしても、そこにお客様を泊めるはずはないので。泊まった方のご主人は畳の上で寝かされていて、どうなったのかはっきり描かれていないのがもやもやします。この部屋に宿泊しただけで、不条理な怪異に飲み込まれるのはあまりに不可解。しかし、怪異より、この部屋の怪異を期待して宿泊したはずなのに何故涙目で綺麗な思い出話のように語っているこのご友人が恐ろしいです。
1024	涙目で	幽幽	一般審査員E	10	5	15	5	5	40	「jィw様」とか何が起きるのかワクワクする話で始まったのに、尻すぼみな内容で残念でした。本名を知ってしまって、ご主人の酒乱が奥様にと言うのは分かりましたが、最後にもうひと盛り上がり有れば加点出来たと思います。
1024	涙目で	幽幽	一般審査員F	12	9	10	11	12	54	私の読解力がないのか、正直、どういう話なのかよくわかりませんでした。なので、それぞれ評価点はつけてはいますが、あまり参考にならないかもしれません。jィw様というのが何者かわからないけれど、妖怪の類いか、それとも一部で信仰されている神様のような存在？涙目の友人Yのご主人はそのYの策略によって更生させられた？結果、〝良い〟主人になったのだろうけれど、友人Yはjィw様の本名を知ってしまったという事？〝差し上げた〟部分とは？Yは女性から男性になった？語り手の〝私〟はなぜ殴られた？やはりよくわからなかったです。
1024	涙目で	幽幽	一般審査員G	13	12	13	10	12	60	ごめんなさい…何度読んでも話しの理解ができず。そしてこれは人怖なのか？話の状況もちょっと意味不明な所もあり、もう少し文章を細くして分かりやすく状況描写して頂けると良かったかなぁと。 何度か読み直してはみたものの DVなのかなぁって辺りは感じたものの、そこにあるであろう深い意味みたいな、確信的な“何か”を感じ取ることが出来ず残念でした〜。
1024	涙目で	幽幽	一般審査員H	10	15	10	12	10	57	ショート怪談で行間にチャレンジしている良作だと感じました。読者の想像力に頼った文脈になっているので好みはわかれそうです。なぜYが涙目なのか、異臭は何だったのか。謎が謎を引きよせるような怪談だと感じました。
1024	涙目で	幽幽	一般審査員I	12	12	11	11	11	57	涙目というタイトルと中身の繋がりが分からなくて。。。下戸になったのは体の一部を持っていかれて飲めなくなったということなのか？ただ最後の一文の意味がわからない。どういうことか誰か教えて欲しい
1024	涙目で	幽幽	一般審査員J	18	15	18	15	15	81	ヒトコワが心霊現象よりも怖いと思わせる良い話だったと思う。 最後に話を聞いていた主人公は、夫をどうしたのか、とても気になる描写で終わったところも非常に良かったと思う。
			合計	128	120	134	120	115	617	
No	タイトル	投稿者	評価者	怖さ	鋭さ	新しさ	ユーモアさ	意外さ	合計	書評
1034	多頭飼育	那夜あやな	一般審査員A	8	8	10	8	8	42	育てるのが無理という人はいるけど、この人は想像を絶しますね。最後の一文がどうしても理解できない。これはどういう意味だ。犬たちも赤ん坊じゃなくてあの子を食べるべきだった？　ここがどうしても理解できなかったため、全体的に配点を低くしています。
1034	多頭飼育	那夜あやな	一般審査員B	9	8	10	5	9	41	犬が赤ちゃんを食べるかどうかは分かりませんが近所の人かなんかの考え方のほうが怖いですね。
1034	多頭飼育	那夜あやな	一般審査員C	14	13	16	12	14	69	喰う。生きる為に喰う。例えそれが人間であったとしても…餓死をするくらいだったら喰らうべき対象は人ですか…納得です。いや納得させてしまったらダメですかね。凄惨な現場や腐ってゆく描写は具体的で生々しく良かったです。ただそれは怖さとしては別でした。がテーマとしては新しくなかなか他の作品には無い真新しさはありました。
1034	多頭飼育	那夜あやな	一般審査員D	16	12	17	16	15	76	この世界では何が起きているんだろう、これから何が起こるんだろうと無意識に眉間に皺を寄せながら読んでしまいました。最後まで読んでもっと縦皺が深くなりました。『この子』というのは、幼い頃から良くない癖があったと推察します。可哀想と思う気持ちは大切かもしれませんが、その気持ちだけでは逆に救うことはできない。しかも、気持ちだけですぐ手元に置いておこうとするならば、もしかするとこの幼子も…最悪の事態に陥っていて今年一の胸くそ悪い話でした。誰かの台詞風の書き方でしたが、説明調になるとリアリティが失われてしまい勿体ないと感じました。リアリティが増すともっと気持ち悪く、怖さを感じると思いました。
1034	多頭飼育	那夜あやな	一般審査員E	5	5	5	5	5	25	この内容だと多頭飼育から起きた事件の話になってしまっていると思うのですが、その中に怪談要素を加えて貰えれば、もっと加点が出来と思います。
1034	多頭飼育	那夜あやな	一般審査員F	15	17	15	16	16	79	ブラックですね。でも、ここまでの話ではなくても、かわいそう、と言っては引き取ったり拾ってきたりして家に連れて帰っても、結局はちゃんと最後まで面倒を見きれない人っていますよね。最後まで責任を持って面倒を見られないなら飼うべきではないと思う。その女性もちゃんと飼えないのに犬を引き取り、結果、犬を飢えさせ、育てると言っていた赤ちゃんを食べられてしまった。やはり、赤ん坊を育てるのはムリだった、という…。罪ですね。文章は鋭さが光ってました。
1034	多頭飼育	那夜あやな	一般審査員G	13	13	12	10	15	63	最後の“食べるべきだった”って何?!と…読み終えた後に最後を何回も読み直し、色々と考えてしまいました。前半の件はなかなかのリアリティでちょっと気持ち悪いやら、人怖的な要素もあったりで、色々な気持ちが交錯しました。　結局の所犬に食べられたって事なんですよね？同情までは良かったけど、結局お世話出来ないんじゃね…。食べられた赤ちゃんだって世話してもらえていたのか??もしかして、犬もお世話してもらえない赤ちゃんなら、いっそ可哀想だけど食べた方がまだマシとでも思ったのか?!人怖的な要素もありつつのお話しだったかなぁとも思いました。
1034	多頭飼育	那夜あやな	一般審査員H	10	15	10	5	15	55	食べられた赤ん坊が人間なのかもしれない…そう思うとゾッとしました。個人的には最後の一文は無くても良いかも。と感じました。「そりゃ空腹だったろ、彼女が全部悪い。」ここの業をドロッドロに煮詰めてオチにして欲しかったです。これは好みですが…序盤で出てきた虫籠の地獄と同じような場面がおきていると、より良かったですね。血液や人型、染みなどの描写で「事後」を読んでみたかったです。
1034	多頭飼育	那夜あやな	一般審査員I	14	11	12	11	12	60	動物を疲労だけ拾ってネグレクト。食べられた赤ちゃんももしや拾ったというか連れ去ったのだったら怖いなと思った。あの子の子供だったとしても虐待した猫や犬に食べられて一番の被害者。怖いな
1034	多頭飼育	那夜あやな	一般審査員J	15	15	12	12	12	66	よくわからないが非常に怖い気がした。動物が必ず不幸になる人物がヒトコワなのか心霊的な何かがあるのかわからない気持ち悪さがあった。
			合計	119	117	119	100	121	576	
No	タイトル	投稿者	評価者	怖さ	鋭さ	新しさ	ユーモアさ	意外さ	合計	書評
1004	姿見	Y-SAKU	一般審査員A	8	8	8	10	10	44	肝試しに行ったときは気が付かないけど、後々冷静になったら分かるパターンはあるあるだなって思いました。そこまで怖くはないかなと思ったので全体的に配点は低くしています。
1004	姿見	Y-SAKU	一般審査員B	10	11	9	12	7	49	廃校に夜に行ったのなら、ガラスも鏡みたいになるし、昼間なら誰かいたんじゃ無いでしょうか。
1004	姿見	Y-SAKU	一般審査員C	11	11	10	9	11	52	後に冷静になって考えるアレは霊障だったのか…と読んでいて今一つパンチが弱くインパクトが足りませんでした。短い怪談は作品数が多く如何に印象が強く残るかの勝負でもあります。姿見にしてもガラス窓であったとしてもアレは見間違いや、思い違いかな？の一言で終わってしまいそうです。もっと血濡れた女の姿が！複数の人間が混ざり合った肉の集合体が！家にまで憑いて来た！くらいの強いオチが欲しかったです。いかんせんラストが弱いです。もっともっと他の作品を参考にして次回作はインパクト大の作品をお待ちしております。
1004	姿見	Y-SAKU	一般審査員D	12	17	16	15	16	76	想像力を掻き立てられるお話でした。到着した時と帰る時に同じ行動、同じ言葉で怪異が起きているのを確認するのに少々違和感を感じましたが姿見に写る人数が増える、というよくある学校の怪談を思い出したのでしょうか。ですが、ここではそれを上回ったことが起きていたということですね。この方は廃校に廃墟マニアとして来たのか、心スポマニアとして来たのか分かりませんが感情の変化があまりになくてこの方自身も危険な人なのか？と思ってしまいました。淡々とした文章のままで怖さが増す部分もありますが、この方は怪異が起きるのを期待している感情描写が
1004	姿見	Y-SAKU	一般審査員E	5	5	5	5	5	25	「１人」は自分以外の何かが姿見に映っていたという事ですよね？そhなると最後の「あれ姿見じゃなくてガラス窓だわ」のオチは、姿見でもガラス窓にでも自分以外が映っていたら怖いと思うので、オチの意味が分からなかったです。
1004	姿見	Y-SAKU	一般審査員F	14	13	13	12	13	65	意味がわかると怖い話、的なお話ですが、廃校の玄関の横にあったのは姿見ではなくガラス窓だった、というオチで、ガラス窓の外には常に誰かがいた、という事なんでしょうけれど、姿見だと思い込んでいた、という事はドッペルゲンガーを見たのか？それとも、成り済ましの霊が現れた？真相はわからないけれど、怖さを誤魔化す為に自分自身で本当は見えているモノを見えていない、と思い込んだり、誤解して認識したりしている事は結構あるのかもですね。
1004	姿見	Y-SAKU	一般審査員G	13	13	12	10	12	60	“姿見じゃなくて、窓だった” オチ。結構あるあるだなぁと思い読ませて頂きましたが、文章の構成や伝え方の工夫はとても面白いなぁと思いました。しかし怖さはあまり感じられ無かったので、その点は低めです。しかし廃校には1人で行ったんですよね？なかなかの勇気ある行動汗。私なら無理だなぁ…まぁ結果そこまで怖い体験もせず終わって良かったですけど。そしてその後何も無い事を祈りたい感じの後味…。やはり曰くのある所は気をつけたいですね。
1004	姿見	Y-SAKU	一般審査員H	5	5	15	15	15	55	分かりやすい心霊現象でしたねwwちょっと怖さや尖りが無いのが残念ですが、[illegible]
1004	姿見	Y-SAKU	一般審査員I	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
1004	姿見	Y-SAKU	一般審査員J	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
			合計	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	
No	タイトル	投稿者	評価者	怖さ	鋭さ	新しさ	ユーモアさ	意外さ	合計	書評
1000	[illegible]	[illegible]	一般審査員A	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
1000	[illegible]	[illegible]	一般審査員B	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
1000	[illegible]	[illegible]	一般審査員C	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
1000	[illegible]	[illegible]	一般審査員D	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
1000	[illegible]	[illegible]	一般審査員E	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
1000	[illegible]	[illegible]	一般審査員F	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
1000	[illegible]	[illegible]	一般審査員G	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
1000	[illegible]	[illegible]	一般審査員H	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
1000	[illegible]	[illegible]	一般審査員I	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
1000	[illegible]	[illegible]	一般審査員J	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
			合計	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	